

審議会等の会議録			
会 議 の 名 称	平成２９年度 第２回座間市住居表示審議会		
開 催 日 時	平成３０年１月３０日(火) １３時３０分～１４時３０分		
開 催 場 所	座間市役所４階 ４－２会議室		
出 席 者	京免会長 菊地副会長 岡戸委員 浦野委員 熊切委員 大谷委員 西村委員 吉岡委員 中村委員		
事 務 局	遠藤市長 北川部長 本多係長 浅黄技師 青木主任 スリーエム技研（委託業者）		
公 開 の 可 否	■公開 □一部公開 □非公開	傍聴人数	なし
非公開・一部公開 し た 理 由			
議 題	議案第１号 入谷地区住居表示（案）について		
資 料 の 名 称	<p>○議案第１号 入谷地区住居表示（案）について</p> <p>○諮問事項について</p> <ol style="list-style-type: none"> 住居表示の実施区域について 実施区域内の住居表示の方法について 住居表示実施に伴う町割り及び町名変更について <p>○参考資料１</p> <ol style="list-style-type: none"> 町割案 町名について 「入谷」をそのまま使用しない理由について 最終案 <p>○参考資料２ アンケートについて</p> <ol style="list-style-type: none"> 前回アンケート（概要） 今回アンケート回収率と結果 <ul style="list-style-type: none"> 回収率 問１ 問２ コメント集 		
会 議 の 内 容 ※会議次第及び 発 言 要 旨 等	<p>部長 ただ今から平成２９年度第２回 座間市住居表示審議会を開催させていただきます。</p> <p> 本日は、各委員さんにおかれましては、大変お忙しい中、ご出席を賜り厚くお礼申し上げます。</p> <p> また、日頃より都市計画行政全般にわたり、多大なご協力をいただいていることに対しまして、心より感謝を申し上げます。</p> <p> 都市部長の北川と申します。議事に入るまでの進行を務めさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。進行につきましては、お手元の次第にもとづきまして、進めさせていただきます。</p> <p> はじめに、事務局の紹介をさせていただきます。</p> <p> 遠藤三紀夫 座間市長です。</p> <p> 事務を担当いたします「都市計画課 市街地整備係」から、係長の本多です。青木主任です。浅黄技師です。</p> <p> 改めまして、私、都市部長兼都市計画課長の北川と申します。どうぞよろしくお</p>		

願いたします。

ここからは着席させていただきます。

また、本日は、業務を委託しております「スリーエム技研 株式会社」の方々も参加をさせていただいております、議事録の作成をさせていただきますので、ご了承くださいますようお願いいたします。

次に、委員さんの出席状況についてご報告をさせていただきます。

川口委員さん及び長本委員さんにつきましては、本日、所用により欠席との連絡をいただいております。

出席者は、11名中9名で定足数に達しておりますので、座間市住居表示審議会規則 第6条 第2項により、本日の審議会は成立いたしますので、ただ今から、平成29年度第2回座間市住居表示審議会を進行させていただきます。

始めに、遠藤市長から挨拶申し上げます。

市長 (市長挨拶)

部長 ありがとうございます。

続きまして、京免会長からご挨拶を頂戴いたしたくお願い申し上げます。

京免会長 (会長挨拶)

部長 ありがとうございます。

それでは次に本日の議案、入谷地区住居表示（案）につきまして座間市住居表示審議会規則 第2条により、市長から会長へ諮問させていただきます。皆様のお手元には、諮問書の写しがございますので、ご確認くださいよう、お願い申し上げます。

(会長へ諮問書の提出)

部長 恐れ入りますが、市長は他に公務がございますので、ここで退席させていただきます。

(市長退席)

事務局 ここで、本日の配布資料の確認をさせていただきます。

（ 資料確認）

部長 資料の不足等ございませんでしょうか。

それでは、これからの議事進行は、座間市住居表示審議会規則第6条第1項に基づきまして、議長であります京免会長にお願いを申し上げます。

議長 それでは、これより議題に入ります。

議案第1号入谷地区住居表示（案）について、事務局から説明をお願いします。

事務局 説明に入る前に、前回の審議会以降の経過を含め、これまでの経過をご説明させていただきます。

当市では、入谷地区及びその周辺の住民の方と商工会の方の計14名で構成された検討会を組織し、主にワークショップ形式で、現状と課題を把握しながら、取りまとめ、住居表示実施に適したあたらしい町割や町名等を提案していただきました。検討会は、平成27年7月の第1回目から平成29年12月の最終回までに計10回開催し、その間に行ったアンケートの作成や結果に対しても貴重なご意見をいただいております。

また、今、触れましたアンケートについてですが、当市では、平成28年度の夏に「住居表示の実施に関するアンケート」を、平成29年度の夏に「町名に関するアンケート」を、入谷地区全戸を対象に、2回実施しております。

検討会では、入谷地区の住居表示実施に向け、10回の検討会の中で、2回のアンケート結果も踏まえ、議論していただき、最終的な検討会案として市へ提案していただいたものが、参考資料1の4にある「最終案」でございます。これについては、後ほどご説明をさせていただきます。

なお、前回の審議会以降の経過としましては、「町名に関するアンケート」と第9回・第10回の検討会を実施しております。

それでは、議案第1号入谷地区住居表示（案）について、ご説明いたします。資料「座間市住居表示審議会議案第1号入谷地区住居表示（案）について」をご覧ください。

1枚めくっていただきますと、先程お伝えしたとおり、諮問させていただいた案件、事項が3つございます。まず、「事項1住居表示の実施区域について」、続いて、「事項2実施区域内の住居表示の方法について」、最後に、「事項3住居表示実施に伴う町割り及び町名変更について」でございます。

それでは、「事項1住居表示の実施区域について」ご説明をさせていただきます。

もう1枚めくっていただきまして、住居表示実施区域図がございます。申し訳ありませんがこちらと、先ほどのA4の1枚の紙の「諮問事項について」をご覧くださいながら、説明をさせていただきたいと思います。

「住居表示の実施区域について」ですが、入谷地区では、「座間入谷」などから町名変更を実施したのが昭和51年1月1日でございます。当時の人口は、10,189人でありましたが、平成29年4月現在では人口18,283人、世帯数8,415世帯と約1.8倍に増加しております。その間も分筆・合筆が繰り返され、その結果、町名変更により解消された地番の混乱が、現在、再び起こっている状況となっております。古くからある広い入谷地区で、この問題に早急に対処するため、対象を現在の入谷地区と明確にし、検討会及びアンケートを行い、住居表示実施に向け、事業を進めてまいりました。よって、現在の入谷地区1丁目から5丁目を住居表示の実施区域としたいと考えております。

次に、「実施区域内の住居表示の方法について」でございます。住居表示の実施方法には、恒久的な施設などによって街区を作成し、街区とその中の建物にそれぞれ符号・付番していく「街区方式」と、道路の名称及びその道路に接している建物などに住居番号を用いて表示する「道路方式」がございます。先ほどの「諮問事項について」の中段「2」をご覧ください。現在、日本では、ほぼ全ての地域で街区方式が採用されており、座間市においても実施した全ての地区で街区方式による住居表示を採用しております。入谷地区でも他の地域との整合性や分かりやすさから、街区方式を採用し、実施したいと考えております。

最後に「住居表示実施に伴う町割り及び町名変更について」でございます。

ここでは、同じく資料「諮問事項について」と参考資料1を使用し、ご説明させていただきます。

参考資料1の1「町割案」をご覧ください。

町割りについては、検討会内で早くから議論を始め、住居表示の決まりや仕組み、その利便性、従来の町などを把握していただいていた中で、徐々にかたちどられていき、最終的に、資料「町割案」のとおり、提案していただきました。その内容は、資料「諮問事項について」3番の上段に書いてあるとおり、小田急線、幹線道路で大きく割り、その後、従来の町界や現状を考慮したもので、小田急線より東側を4つ、西側を5つ、5丁目までであった入谷を計9つに分割したものとなりました。

つぎに町名について、ご説明いたします。まずは夏に行いましたアンケート結果についてご報告いたします。詳細な結果及び前回の結果については、後ほど参考資料2「アンケートについて」を各自ご覧いただきたいと思います。ここでは、要点をまとめた参考資料1の2「町名について」でご説明させていただきます。1の2「町名について」をご覧ください。まず、このようなアンケート内容になった経緯ですが、前回のアンケートである実施に関するアンケートでも町名の意見を書いて送っていただいた方が、すでにおりまして、少ない件数ながらも様々な町名案を送っていただきました。そこで、町名アンケートでは、検討会の方で一定の案を示した方がよいのではないかと検討会で話し合い、それならと作成する段階で検討会の委員の方々から「入谷」を残していきたいとの意見をいただき、アンケートでは「入谷」の地名を基本に作成していきました。「入谷」以外の地名案があれば自由記入欄に記載していただくこととなりました。

一方、入谷には市内唯一の県立公園である「谷戸山公園」があり、一部、これを町名とする案もアンケート作成中のワークショップで提出されたことから、案2としてアンケートに掲載いたしました。では資料「町名について」をご覧ください

→ アンケート結果報告（参考資料1の2「町名について」読み上げ）

アンケート結果を受け、検討会で改めて町名について議論をいたしました。その議論の中で、主に3つの論点に絞られていきました。

ひとつめ、「入谷」の地名を残すかどうか。ふたつめ、「谷戸山公園」という地名を使用するかどうか。みつめ、東と西の名称の扱いをどうするかでございます。

先に結論から申しますと、資料「諮問事項について」3番の後段、地域の方に愛着のある「入谷」の地名を残しつつ、5丁目だった入谷を9つに分割することから、住居表示の目的を十分果たすため、「入谷」の地名を従来そのまま使用せず、実施前と実施後の相違を明確にし、小田急線より東側を「入谷東」、小田急線より西側を「入谷西」とする検討会の最終案を当市でも採用することといたしました。

これについて、補足説明いたします。このアンケート結果では、入谷全体の件数では案2「谷戸山公園」を町名として利用する案を選ぶ方が上回りましたが、実際に町名が「谷戸山公園」となり得る地域に住んでいる方、3丁目の東に住んでいる方の件数では、案1「谷戸山公園」を町名として利用しない案を選ぶ方が上回りました。この結果を受け、検討会で議論、検討会の委員の方にも実際に町名が「谷戸山公園」となり得る地域に住んでいる方がおりましたので、その方の意見をまず聞くことから議論が進行し、次のような結論となりました。

その方によると、家族、周辺の方にも聞いたが、皆さん案1の方がよく、理由として、「町名が長く、書きにくい」「公園内に住んでいる印象を与える」とのことでした。また、他の委員の意見では、「この先も絶対に公園のままであるとは言えない」「周りが入谷であるのに、ここだけ入谷でないとすると子どもが何か言われるのではないか」と心配する声も、「案1と案2の差が圧倒的に開いている（案2が上回っている）のは入谷4丁目だけで、ここが案2の票を稼いでいる。他は僅差か案1が上回っている。そうであるなら、ここに住んでいる方の意見を優先してよいのではないか」との意見が出され、また、自由意見でも「ここに住んでいる方の意見で決めるのがいいのではないか」との意見があったことから、検討会では、「ここに住んでいる方の意見を優先するとし、案1（「谷戸山公園」という地名を使用しない）を検討会案とする」ことといたしました。

次に、東西の使用ですが、参考資料1の3「入谷をそのまま使用しない理由について」をご覧ください。「入谷」の町名を何も変えないままですと、一瞥しただけでは容易に判断が出来ませんが、例えば、東西を使用すれば、実施前と実施後の判断は容易であることから、小田急線で東西に分かれることもあり、東西を付けて、アンケートに採用いたしました。上の表が入谷をそのまま使用した例、下が東西を使用した例でございます。番地と番号は適当に付けておりますが、町名は符合して

おります。つまり、9分割で実施した場合、表のとりの町名変更となりますので、このように容易に判断が可能となります。アンケートの結果は、先のとおりとなりますので、ここはアンケート結果のとおり、東西を後ろに付けることといたしました。

これらの結果をまとめると、検討会の最終案としては、参考資料1の4にある「最終案」のとおりとなります。これを検討会から市へ提案していただき、その後、当市においても検討し、この最終案を市の最終案として採用することといたしました。それが、議案第1号にある「町区域変更図」になります。

最後に資料「諮問事項について」の一番後ろ、「よって」以降、よって小田急線より東側を市の中心から近い順（※）に入谷東一丁目から四丁目とし、小田急線より西側を市の中心から近い順に入谷西一丁目から五丁目としたいと考えております。

なお、「一丁目」の漢数字について、従来から座間市では、住居表示を実施した地区においては、漢数字を用いてきたことから、他との統一性、一貫性を考慮し、入谷地区においても漢数字を利用したく、提案したものです。

また、※印でございますが、座間市住居表示整備実施基準において、丁目の起点は原則として市の中心に最も近い地点として整然と配列し、と規定しておりますので、このとおりとさせていただきます。

説明は以上とさせていただきます。

議長

ただ今、事務局から説明がありましたので、これより質疑に入ります。
質疑がある方はお願いいたします。

ありませんか。

質疑がなければ、以上で質疑を終結したいと思います。よろしいでしょうか。

それでは、採決をしたいと思います。議案第1号入谷地区住居表示（案）について、まずは「事項1住居表示の実施区域について」賛成の方の挙手を求めます。

委員

（賛成者挙手）

議長

挙手全員でございます。よって、「事項1住居表示の実施区域について」、原案のとおり可決いたしました。

続きまして、「事項2実施区域内の住居表示の方法について」賛成の方の挙手を求めます。

委員 (賛成者挙手)

議長 挙手全員でございます。よって、「事項2実施区域内の住居表示の方法について」、原案のとおり可決いたしました。

続きまして、「事項3住居表示実施に伴う町割り及び町名変更について」賛成の方の挙手を求めます。

委員 (賛成者挙手)

議長 挙手全員でございます。よって、「事項3住居表示実施に伴う町割り及び町名変更について」、原案のとおり可決いたしました。

ありがとうございました。以上で、議案第1号入谷地区住居表示(案)について採決を終了いたします。

続きまして、答申の方法につきまして、ご意見をお願いいたします。いかがでしょうか。

委員 会長に一任します。

議長 ただ今、会長に一任というご意見がございましたが、これについてご異議ございませんか。

委員 異議なし。

議長 異議なしと認めます。よって、市長への答申につきましては、副会長と相談のうえ、行わせていただきます。

以上で、本日の審議事項については、終了いたします。

ここで、10分程度休憩いたします。

(休憩中 答申書の準備)

議長 休憩を解きまして、再開いたします。

先ほど可決いたしました、入谷地区住居表示(案)につきましては、皆様に答申の写しをお配りしましたとおり、後ほど副会長と共に市長へ答申をさせていただきます。

事務局から他に何かありますか。

事務局 今後の予定について、説明させていただきます。

部長 今後の予定でございますが、本日の審議の結果、答申をいただいたあと、住居表示に関する法律に基づきまして、その案を30日間公示しなければなりませんので、今後公示をかけさせていただきます。公示後、平成30年第1回定例会が3月でございますので、3月の定例会に上程をさせていただき、議会の中でご審議をお願いしたいと考えております。ご審議いただき、採決いただきましたなら、正式に住居表示を実施する手続きを進めさせていただきます。

実施時期といたしましては、平成30年度については、システムの関係や庁内調整もありますので、2月頃になる予定です。

また、東と西、二つに分けてございますので、当面は小田急線より東側の地区を30年度に進め、翌年、31年度には、西側の地区を進めることとさせていただきますので、ご了承いただきたいと思います。

以上でございます。

議長 それでは、本日の予定は全て終了いたしましたので、これからの進行を事務局にお返しします。

部長 本日は、ご審議いただき、まことにありがとうございました。
お忙しいところ、ありがとうございました。
これで「平成29年度第2回座間市住居表示審議会」を閉会させていただきます。
どうもありがとうございました。